2020年度

公益社団法人北海道社会福祉士会実践研究集会(全道大会)実践発表者募集要項

実践発表・ポスター発表　発表者募集要綱

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期しておりました、2020年度実践研究集会（全道大会）を、オンライン（WEB会議システム「ZOOM（ズーム）」を使用）にて下記のとおり開催いたします。

本集会は、魅力ある組織作りの一環として、また、会員の資質向上の機会として、本会独自に実施する、社会福祉士による社会福祉士のための実践研究集会となります。

つきましては、日頃の実践活動や研究成果を発表していただける会員（個人・グループ・地区支部等）を広く募集いたしますので、別添「発表申込要領」を確認の上、申込みくださいますようお願いいたします。

なお、募集多数の場合には発表分野等により選考させていただく場合があります。また、オンライン開催に伴い、ポスター発表は募集せず「実践発表」のみとなりますので、あらかじめご了承願います。

記

１　と　き　２０２１年２月１１日(木・祝)　13：30～17：00予定（受付13：00）

２　ところ　オンライン（WEB会議システム「ZOOM（ズーム）」を使用）

３　主　催　公益社団法人北海道社会福祉士会

４　参加費　会　員　２，０００円（発表者及び共同研究者）

　　　　　　非会員　４，０００円（共同研究者が非会員の場合）

５　プログラム

Ⅰ　全体会

（１）開　　会　(13：30～13：40)

（２）基調講演　(13：45～15：15)

テーマ：「これからの社会福祉士の方向性について

　　　　　～日本社会福祉士会のこれまでの取組みと未来への展望～」（仮）

講　師：公益社団法人日本社会福祉士会　会長　西島　善久　氏

聞き手：公益社団法人北海道社会福祉士会　相談役　竹田　匡　氏

(公益社団法人日本社会福祉士会　理事)

Ⅱ　実践研究発表　　(15：25～17：00予定)

（１）実践発表　4～5発表を予定

**【実践研究集会　発表申込要領】**

下記の要領で実践発表の発表者を募集します。

|  |  |
| --- | --- |
|  | **実　践　発　表** |
| 発表資格 | 北海道社会福祉士会会員に限ります。  　個人・グループ（委員会、部会等）・地区支部等 |
| 採用数 | 採用数：４～５発表 |
| 申込数 | 一人一発表です。 |
| 申込様式 | 以下の様式に必要事項を記入し申込締切までに提出してください。  **①北海道社会福祉士会研究集会　申込書(様式１)**  ※①の様式は、本会ホームページよりダウンロードして下さい。  （ダウンロードできない場合は、事務局へお問い合わせ下さい。） |
| 申込先 | 〒060-0002　札幌市中央区北２条西７丁目かでる2.7　４階  　公益社団法人北海道社会福祉士会　事務局  　　TEL 011-213-1313(月～金9:30～16:30)、FAX 011-213-1314  　　E-Mail：info@hokkaido-csw.or.jp  URL:http//www.hokkaido-csw.or.jp |
| 申込締切 | **郵　送：2020年12月25日(金)　消印有効**  **ＦＡＸ：2020年12月25日(金)　必着** |
| 原稿（レジュメ）の提出 | 以下の様式に必要事項を記入し提出期限までに提出してください。  **②実践研究集会原稿提出書(様式２)**  **③発表原稿記載様式**  **※②及び③の様式は、本会ホームページよりダウンロードしてください。**（ダウンロードできない場合は、事務局へお問い合わせ下さい。）  ・提出されたレジュメはそのまま版下原稿として使用しますので、Word（ワード）等で作成した鮮明な原稿を提出してください。  ・別途参加者へ配布希望の資料がある場合は、様式の提出に併せてデータを提出してください。  ・提出いただいたレジュメ及びデータは、事前に参加者へメール（希望者には印刷して）送付いたします。 |
| 提出先及び提出期限 | 提出先：（上記申込先に同じ）  **提出期日：2021年1月27日(金)　消印有効** |
| 発　表 | 時間配分：一発表２５分以内　　※発表数により変更あり  (発表２０分、質疑応答５分) |
| パワーポイントなどを使用する場合はZOOMの機能（画面共有）を使用していただきます。  ※ZOOMの使用方法及び接続等に不安がある場合は、事前に接続テスト等を行いますので、事務局までご連絡ください。 |

**【様式１】**

**【実践研究集会 申込書】**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日作成

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな： | 所属する地区支部名： |
| 氏　　名： |  |
| 会員番号： |
| 所属先名称： | 所属先職種又は役職： |
|  |  |
| 連絡先（自宅・勤務先）　※どちらかに○をつけてください。 | |
| 住所：〒　　　－　　　　　　　　　Ｔ Ｅ Ｌ：  　　　　　　　　　　　　　　　　　携帯TEL：  　　　　　　　　　　　　　　　　　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ： | |
| 発表のテーマ：  同様のテーマでの発表履歴：なし・あり→以下記入  ①発表年月：  ②大会など：  ③タイトル：  共同研究者：なし・あり→（　　）名 | |
| 発表当日のパワーポイントの使用希望　：無・有  事前配付資料　　　　　　：無・有 | |
| 事務局への連絡及び問い合わせ事項：なし・あり→以下記入 | |

**【様式２】**

**【実践研究集会 原稿提出書】**

　　年　　月　　日作成

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな： | 所属する地区支部名： |
| 氏　　名： |
| 会員番号： |
| 所属先名称： | 所属先職種又は役職： |
|  |  |
| 連絡先（自宅・勤務先）　※どちらかに○をつけてください。 | |
| 住所：〒　　　－　　　　　　　　　　　　Ｔ Ｅ Ｌ：  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　携帯TEL：  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ： | |
| 【発表原稿申込自己チェックリスト】  下記の項目について確認し、☑を入れて、自己チェックをしてください。  〔倫理〕  □　１　対象者の安全及び人権の擁護、特に研究に関する知る権利、自己決定の権利に対する配慮ができている。  □　２　個人情報や秘密の保持、写真の使用などプライバシーに配慮できている。  □　３　対象者に行った倫理的配慮を明記している。  〔構成〕  □　１　原稿の冒頭には、タイトル、サブタイトル（任意）、発表者氏名・所属先・所属地区支部・会員番号、共同研究者の氏名・会員番号・所属地区支部が記載されている。  □　２　本文は、研究目的、研究方法、倫理的配慮、結果、考察、結論、を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成してある。  〔記載様式〕  □　１　タイトル、サブタイトル、見出しは、フォントがゴシック体10pt、太字になっている。  □　２　発表者及び共同研究者の氏名、所属先などの情報、本文はフォントが明朝10ptになっている。  □　３　発表者氏名の前に「○」をつけてある。  □　４　発表内容記載様式の余白は、上下左右を25ミリとしている。  □　５　本文の見出しに使用するナンバーは右記のとおりとする。Ⅰ、１、(１)、1)、①  □　６　図、表、写真はそのまま製版可能な水準で、通し番号、タイトルが付されている。  □　７　和文中では算用数字、括弧、句読点は全角、英文中では半角に統一されている。  □　８　引用文献は適切に記載されている。  □　９　原稿はＡ４縦置き、横書き、１貢40字×40行、２枚で作成されている。 | |
| **【実践研究集会　発表原稿記載様式】** | |
| **（原稿はＡ４縦置き、横書き、上下余白25ﾐﾘ、１貢40字×40行、２枚）**  **タイトル**（**ゴシック体10pt、太字**）  **サブタイトル**（**ゴシック体10pt、太字**）  ○発表者氏名(所属先、所属地区支部、会員番号) 　（明朝10pt）  　共同研究者氏名(会員番号、所属地区支部) 　　　（明朝10pt）  例）  **Ⅰ　研究の目的**（**ゴシック体10pt、太字**）  本文　（明朝10pt）  **Ⅱ　研究方法**（**ゴシック体10pt、太字**）  本文　（明朝10pt）  **Ⅲ　倫理的配慮**（**ゴシック体10pt、太字**）  本文　（明朝10pt）  **Ⅳ　結果**（**ゴシック体10pt、太字**）  本文　（明朝10pt）  **Ⅴ　考察**（**ゴシック体10pt、太字**）  本文　（明朝10pt）  **Ⅵ　結論**（**ゴシック体10pt、太字**）  本文　（明朝10pt）  **参考文献：**（**ゴシック体10pt、太字**）  本文　（明朝10pt）  **※必要に応じて見出しを工夫してください！** | |